

～ 第 51 回 ～

# 景気動向調査結果

－ 令和 6年 1月分 －

[ 調査概要 ]

1 調査対象期間 令和5年 10月～令和5年 12月

2 調査対象企業数(H27～)

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 100% (100社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしております。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

# 景気動向調査集計結果

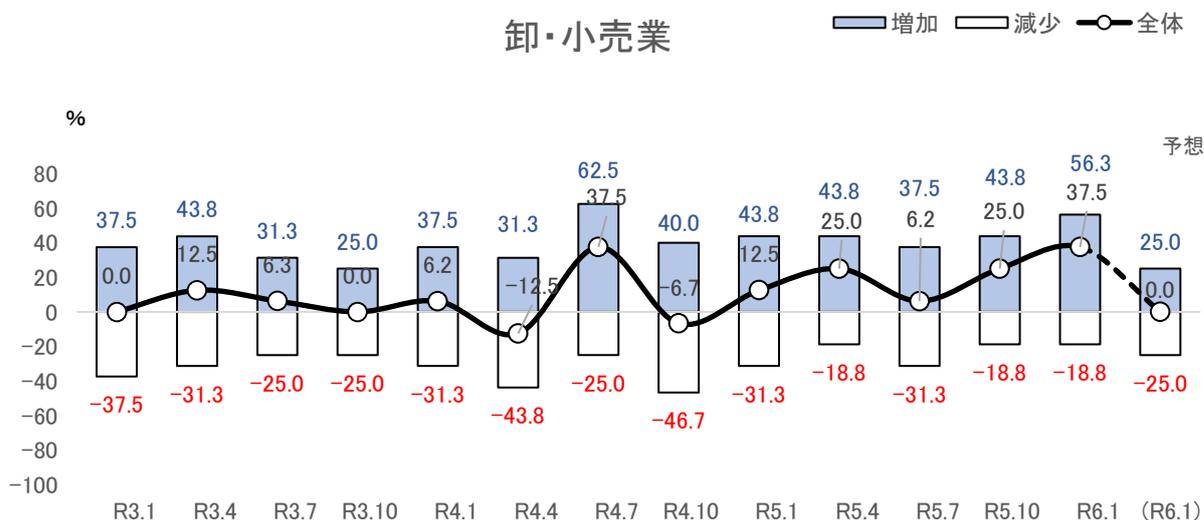
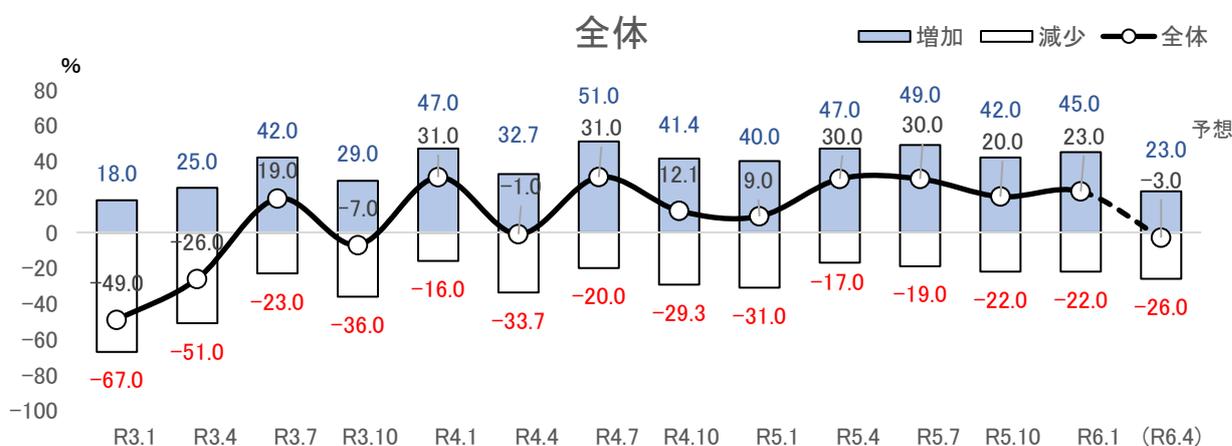
## 1 総論

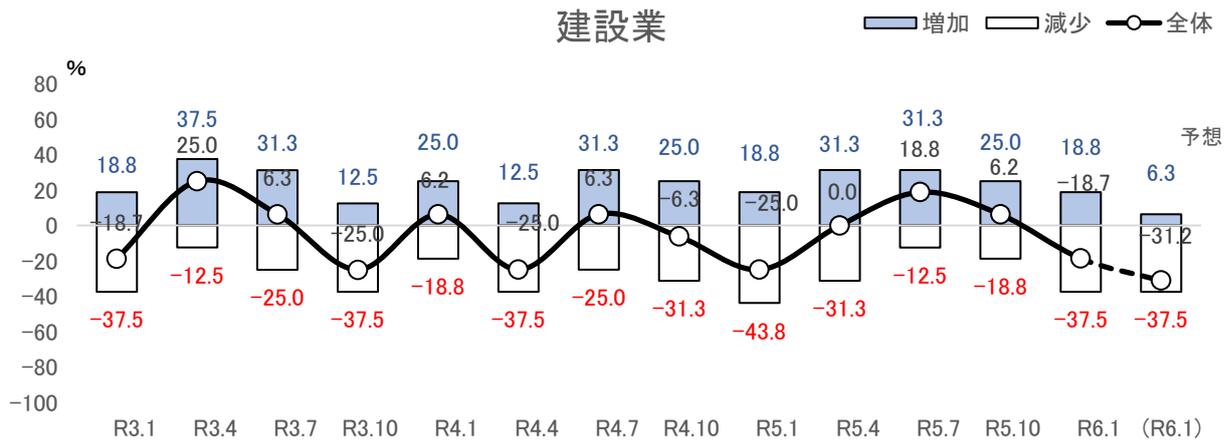
売上高は全体で若干の増加となり、令和5年4月調査から比較的高い水準で増加回答が続いています。業種別では製造業が大きく回復した一方、建設業が大きく減少しています。コストについては高止まり傾向が見られますが、今後の不透明感もあり、資金繰りや経営課題での懸念につながっています。

2024年の見通しは変わらないが最多となりましたが、物価高対策やリニア関連事業など今後の政策等への期待もあらわれています。重点的な取組には販路拡大・開拓や人材確保・育成が多くあげられました。人材についての回答は各設問でも上位で関心の高さが窺えます。

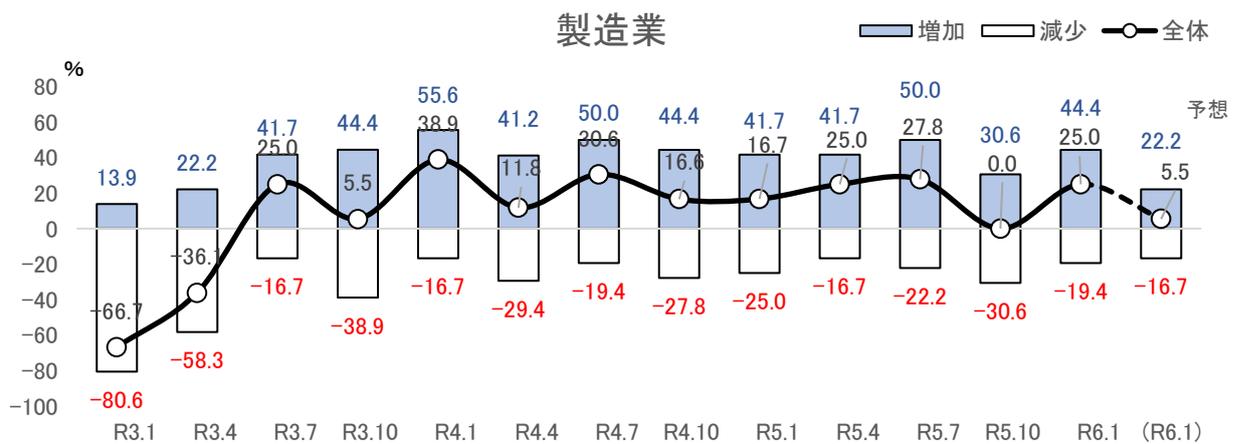
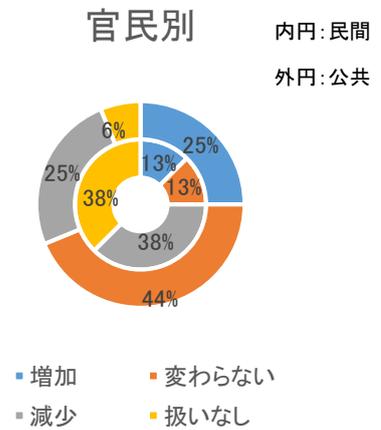
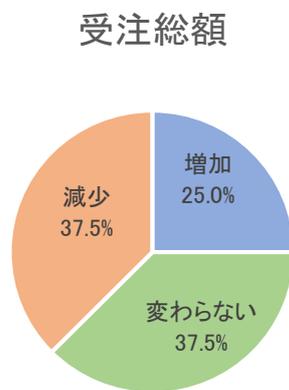
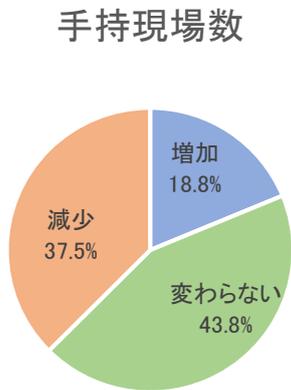
## 2 売上高・受注高 ー前年同期との比較、今後3か月の予想ー

全体では23ポイントと前回調査から若干の回復となりました。卸・小売業、製造業が増加、建設業、宿泊・飲食業、サービス業が減少となっており、特に製造業の大幅な増加、建設業の大幅な減少が目立っています。卸・小売業での単価上昇、製造業での輸送関連や防衛・航空関連などの分野で売上高が上昇、一方で建設業での小型工事減少、宿泊・飲食業で単価減少との声も聞かれ、業種による差が大きくなってきています。今後の見込みは5業種いずれも悪化予想でした。

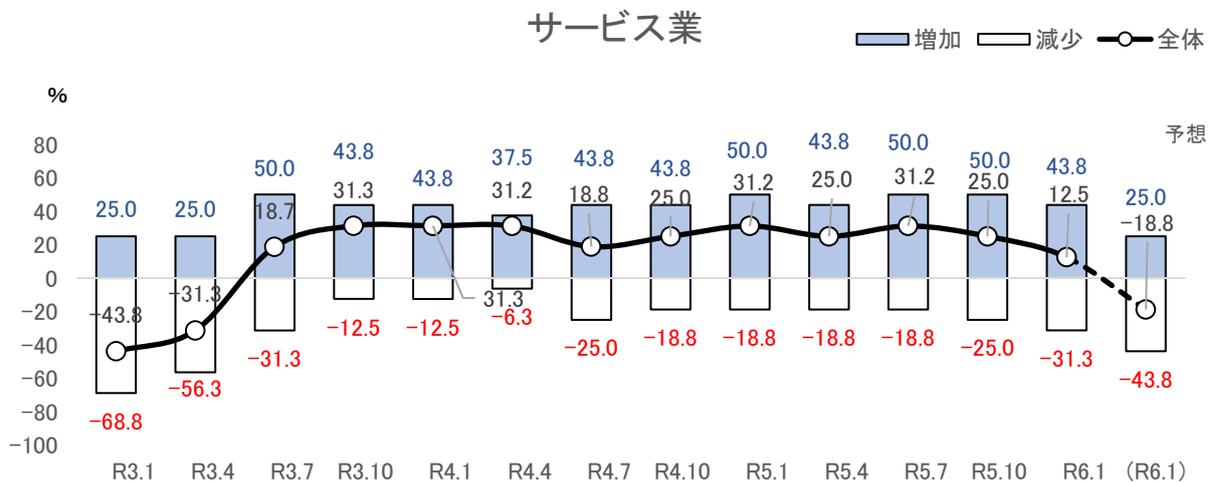
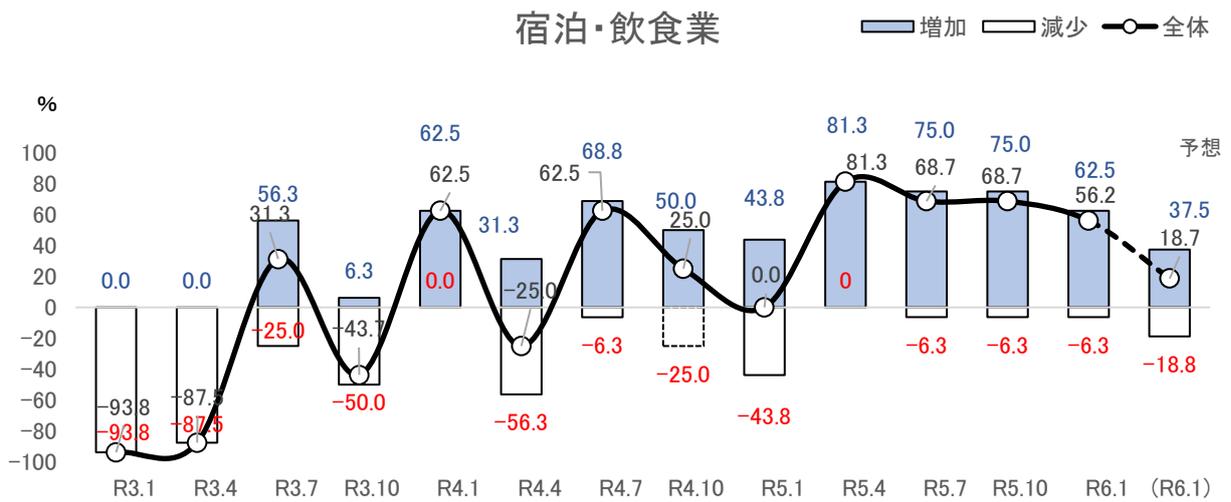
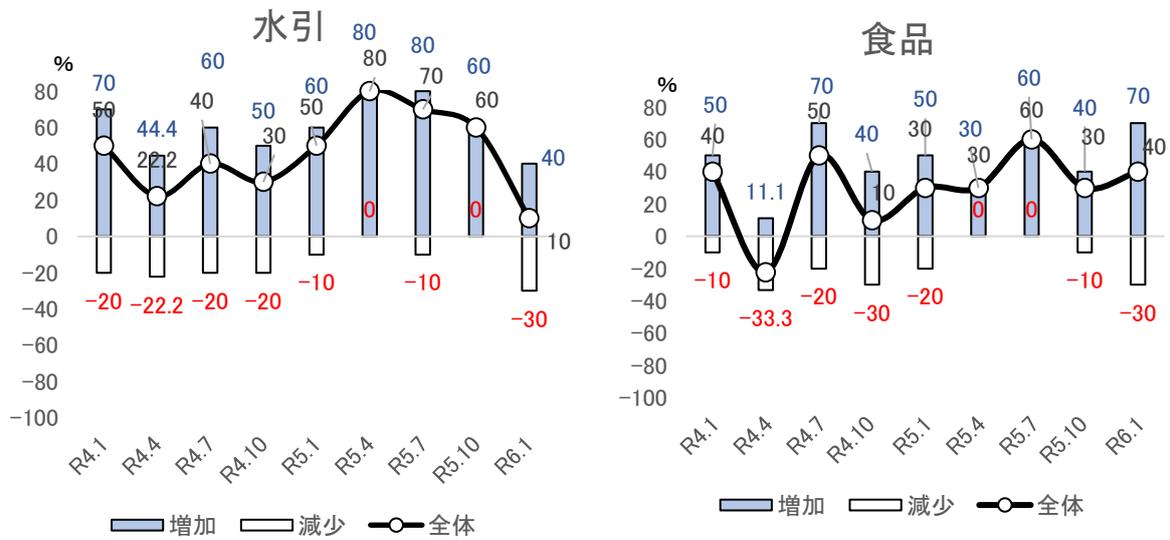




(建設業)



(伝統産業)



(主なコメント)

◆増加要因

- ・既存取引先の受注数は伸びているが、取引先自体が減少している。既存の売上先を増やす(変える)ことも視野に入れていかねばならない。(卸・小売)
- ・商品単価が上がっているため売上は増加しているが、来店回数・購入点数は減少している。(卸・小売)
- ・店売りは減少で外売りは増加。(卸・小売)
- ・今季は大口物件が入ったため。(卸・小売)
- ・コロナ5類移行後、多少の動きあり。(建設)
- ・リニア・三遠南信関連工事の増加。(建設)
- ・輸送関連は好調に転じた。工作機械関連は精算調整が続いている。(製造)
- ・防衛・航空関連は良いが、産業機械は底をはっている。(製造)
- ・価格転嫁した。(製造)
- ・コロナ明けにより、縁起物の売上が増加した。(製造)
- ・人が動いている。(製造)
- ・卸が増えている店売りは現状維持。(製造)
- ・コロナ禍以降の社会活動が戻りつつあることが影響。(宿泊・飲食)
- ・昨年はコロナ影響があったので昨年同期に比べれば増加。(宿泊・飲食、サービス)
- ・コロナ後、初めての年末で忘年会が増えた。(宿泊・飲食)
- ・補助金(〇〇割)が終わってしまい、宿泊が減ったが、代わりに宴会が増えているので売り上げについては変わらない。(宿泊・飲食)

◆減少要因

- ・大型工事はあまり変わっていないが、小型工事が減少している。(建設)
- ・受注の減少。(製造)
- ・輸送関連は好調に転じた。工作機械関連は精算調整が続いている。(製造)
- ・防衛・航空関連は良いが、産業機械は底をはっている。(製造)
- ・内職の高齢化によって、生産性が落ちている。今期の減少は、これで正常である。今までが多かった。(製造)
- ・昨年の利益が良かった。客数は同じぐらいだが、客単価が1500~2000円ほど下げているので利益が出づらい。また、旅行補助金がないのである地域へ流れてしまっている。(宿泊・飲食)
- ・契約打ち切りが数社、人員が減少した。(サービス)

◆今後3ヶ月予想

(好転)

- ・商品単価アップのため好転見込み。(卸・小売)
- ・リニア・三遠南信関連工事の増加。(建設)
- ・地震を受けて冷え込むかもしれない。(建設)
- ・良い流れが続くと思う。(宿泊・飲食)
- ・昨年の会議所主催の賀詞交歓会で飲食ありにしたことがきっかけになっている。(宿泊・飲食)
- ・歓送迎会が増えてくると思うので、増加を期待している。(宿泊・飲食)
- ・好転してもらわないと困る。(サービス)
- ・旅行需要が復活し、前年比300~400%。(サービス)

(悪化)

- ・昨年の多すぎたため減少を見込む。(建設)
- ・能登震災による心理的な影響による減少があるかも。(製造)
- ・注文はあるが店売りが心配。(製造)

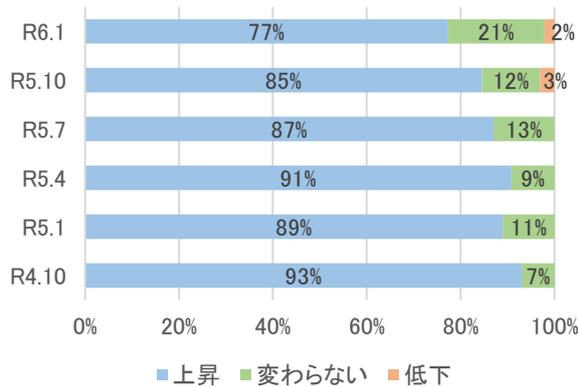
今の感じだと変わらないが、宴会が仮予約になってもキャンセルになってしまうことが何回かあったので期待できない。(宿泊・飲食)

- ・インフルや地震によるマインドの影響あり。(宿泊・飲食)
- ・1店舗閉店により売上減少。(サービス)
- ・ダイハツの影響が不透明で悪化を予想。(サービス)

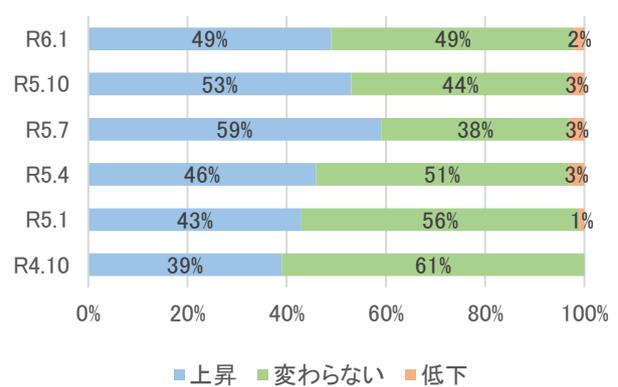
### 3 コストの状況 —前年同期と比べて—(全体)

原材料、その他経費は一時期 90%近くあった上昇回答が、今回は 70%台となり、変わらないの割合も多くなりました。先の見えなかった上昇傾向が高止まりした感がみられます。人件費、下請け単価も同様に上昇回答が前回より減っています。しかし資材や食材、輸送費、光熱費など様々なコスト上昇についてのコメントもあがっており、動向はまだ不透明な状況といえます。

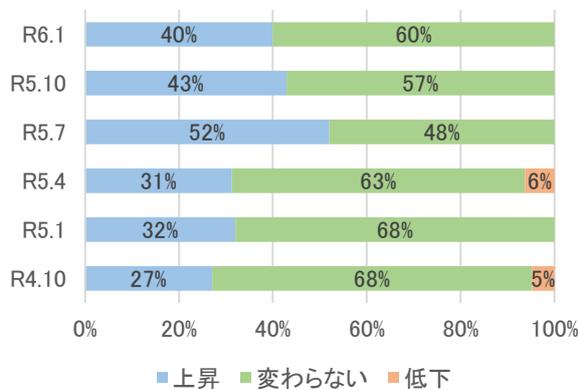
## 原材料



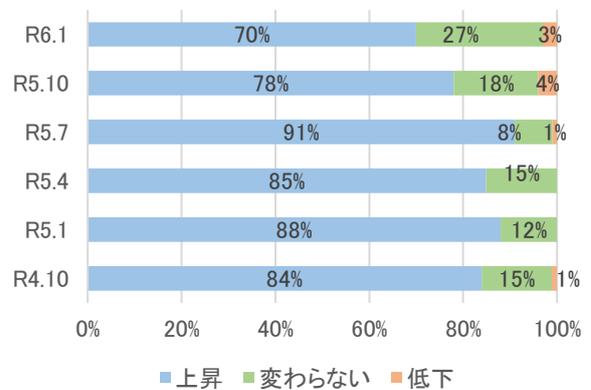
## 人件費



## 下請単価



## その他経費



### 【主なコメント】

#### ◆原材料

- ・円安に伴う上昇。(卸・小売、製造)
- ・メーカーからの卸値の上昇、主に紙製品。(卸・小売)
- ・価格高騰。(卸・小売、宿泊・飲食、サービス)
- ・仕入で特に中国依存のものは入ってこない。(卸・小売)
- ・製材メーカー火災により木材価格上昇。(建設)
- ・物流、燃料費の値上がり。(建設)
- ・電線、プラスチック関係(石油)価格上昇。(建設)
- ・鉄材高騰。(建設)
- ・単価の高止まり。(製造、宿泊・飲食)
- ・素材は落ち着いてきている。(製造)
- ・原油高。(製造)
- ・金属類上昇。(製造)
- ・紙、段ボール代の上昇。(製造、サービス)
- ・木材の海外品(ロシア製)の輸入ストップに伴う値上げ。(製造)
- ・品薄の影響もあり加工米が上昇。(製造)
- ・小麦、大豆不足。(製造)
- ・もち米価格の上昇。(製造)
- ・ラーメン用の小麦値上がり。(宿泊・飲食)
- ・地元の方々より食材をいただいたりするため原価率は変わらない。(宿泊・飲食)
- ・通常コースで運行できないので、燃料代が減少した。(サービス)
- ・宿泊料金等の値上げ。(サービス)
- ・染粉、シャンプーの値上げ。(サービス)

#### ◆人件費

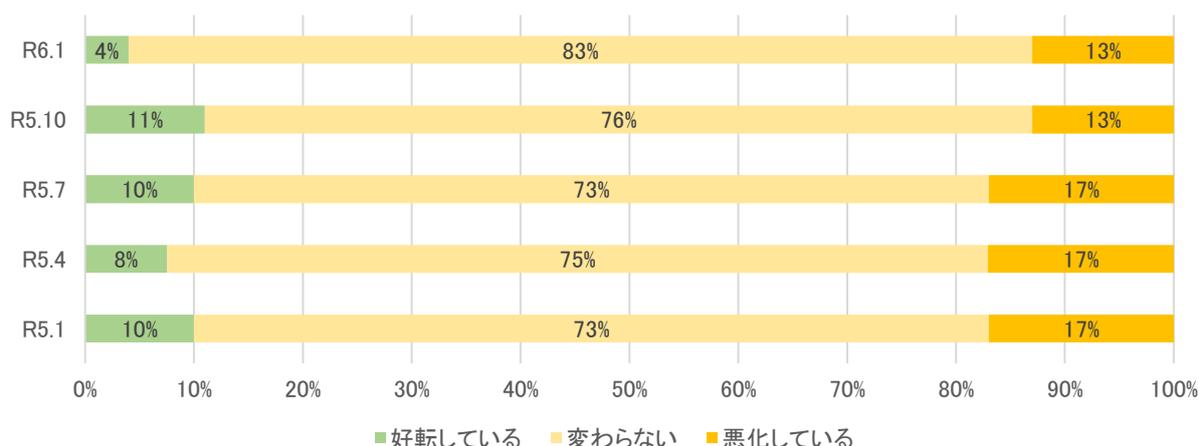
- ・最低賃金アップ。(卸・小売、製造、宿泊・飲食、サービス)
- ・稼働時間増加、契約形態の変化。(卸・小売)
- ・外国人2人採用。(建設)
- ・ベースアップ。(建設、製造、サービス)

- ・雇用により人が増えた。(建設)
- ・人員の減少により減少。(製造)
- ・手当の増加。(製造)
- ・内職工賃増加。(製造)
- ・昨年引上げた。今年も最低賃金の上昇により引き上げの予定。(製造)
- ・人手不足の影響で募集するために人件費を上げている。(製造)
- ・人手不足が続いている。人材確保のための賃上げ。(宿泊・飲食)
- ・アルバイト・パートさんを増やす事ができた。(宿泊・飲食)
- ・人手不足が続いているため、高い賃金の派遣をお願いしているため。(宿泊・飲食)
- ・賃金改定。(サービス)
- ◆下請け単価
  - ・値上げ要請。(製造)
  - ・人件費アップ等にもない部品は上昇。(製造)
  - ・値下げ交渉中だけドルーされている、再度交渉を行う予定。(製造)
  - ・内職工賃増加。(製造)
  - ・製造単価の上昇。(製造)
- ◆その他経費
  - ・輸送費、運賃。(卸・小売、建設、製造)
  - ・水道光熱費。(卸・小売、製造、宿泊・飲食、サービス)
  - ・ショーケースの更新による上昇はあったが光熱費は減少できている。(卸・小売)
  - ・燃料費等。(建設、製造、宿泊・飲食)
  - ・大工外注費。(建設)
  - ・人件費、輸送費の上昇については、2024年問題が絡んできている。(建設)
  - ・外国人2人採用し、住む場所・家電、業務備品などを一通り揃えた。(建設)
  - ・全ての物が値上がりしている。(製造)
  - ・段ボール等梱包資材。(製造)
  - ・運送費の上昇は送料を引き上げることで対応する。(製造)

#### 4 資金繰りの状況 —前年同期と比べて—(全体)

変わらないが 83%に増加していますが、好転しているが減少しています。若干回復傾向にある売上高に対し、コストは高止まり感がみられるが依然高い水準が続き、その圧迫により利益に充分つながらない状況と思われます。借入による資金調達への懸念の声も見られました。

#### 資金繰りの状況



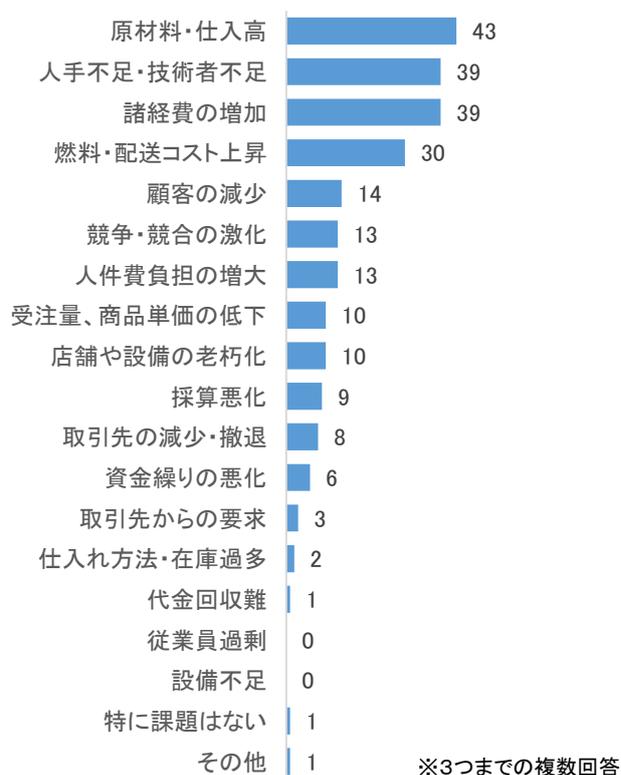
#### 【主なコメント】

- ・店売り減少の分キャッシュ減。(卸・小売)
- ・宿泊者減少により、固定費分の負担が大きい。(宿泊・飲食)
- ・貯蓄はできている。(宿泊・飲食)
- ・借りてもその後の支払が難しいので借りられない。(宿泊・飲食)
- ・旅行補助金等が終わってしまっているので、その影響は大きい。(宿泊・飲食)
- ・売上増だが仕入値上昇により利幅少ない。(宿泊・飲食)
- ・全体的に受注減になっている。(サービス)

## 5 経営上の課題

原材料・仕入高の回答数は減少しましたが、それに次ぐ課題として人手不足・技術者不足と諸経費の増加、燃料・配送コスト上昇の3つで特に回答数が多くなってきています。人手不足や採用難への懸念や、コストの全体的な増加に対する懸念の声も多く目立ってきています。

【 R6.1 】



【R5.10】



### 【主なコメント】

- ・リニア工事に関わる新築のペースが減ってきた。(建設)
- ・営業系の採用はできるが、技術系の採用はできない。Uターン組もない。(製造)
- ・社員教育が出来ていない。(製造)
- ・内職が集まらない。内職さんの高齢化や引き抜き。(製造)
- ・採算悪化で資金不足。(宿泊・飲食)
- ・人手不足により、予約を断る状況もある。(宿泊・飲食)
- ・燃料・配送コスト上昇について灯油・重油が上がっている。(宿泊・飲食)
- ・1人の宿泊でもお風呂を沸かしておかないといけないので沸かしなおしが必要。(宿泊・飲食)
- ・人手が足りず複数社の派遣会社に依頼しているが採用できない。採用できてもなかなか定着しない。(サービス)

## 6 2024年の見通し等について

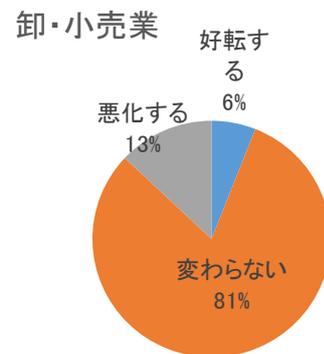
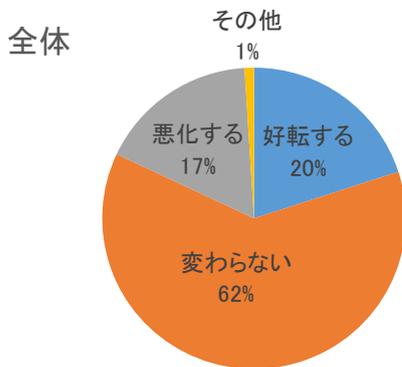
2024年の自社の見通しは好転する、悪化するとも2割前後で、変わらないが62%と最も多くなっています。好転するの割合が最も多かったのは宿泊・飲食業、悪化するの割合が最も多かったのは建設業であり、業種により見通しに差が出ています。

地域の動向や政策の中で注目や関心が高い項目や取り組みでは物価高対策が最多で次にリニア関連事業、産業人材の確保・育成と続いており、様々な環境変化の中で地域の政策等への期待値の高まりもあらわれています。

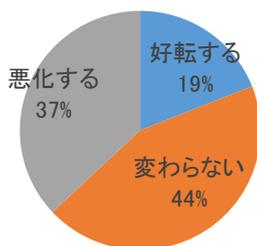
自社が2024年に重点的に取り組みたい事は販路拡大・販路開拓がトップで積極的な売上確保への姿勢があらわれた結果となっていますが、2番目以降に人材の確保・育成、生産性向上、設備投資が続き、自社の基盤を整える取り組みがあがっています。

「2024年問題」による影響や懸念では対応のためのコスト増加、輸送スケジュールの変更の回答が様々な業種から多くあげられました。

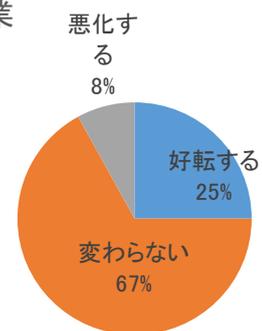
### (1)2024年の自社の見通し



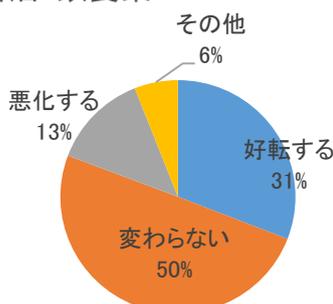
### 建設業



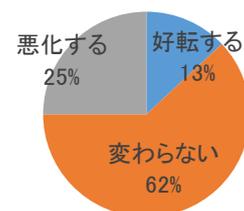
### 製造業



### 宿泊・飲食業

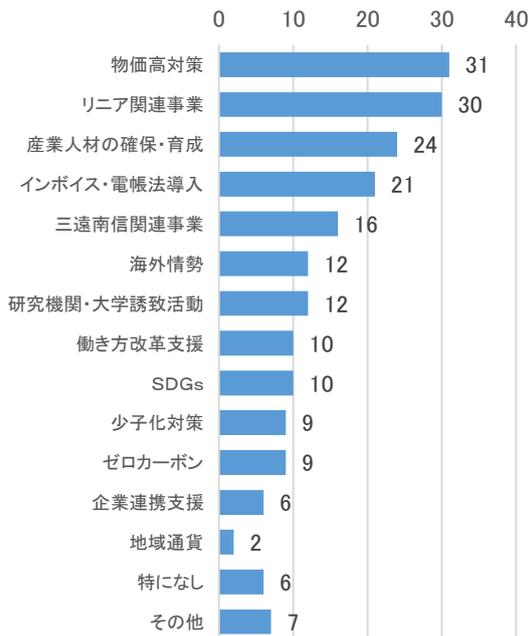


### サービス業



## (2)地域の動向や政策の中で注目している、又は関心が高い項目や取り組み

### 全体



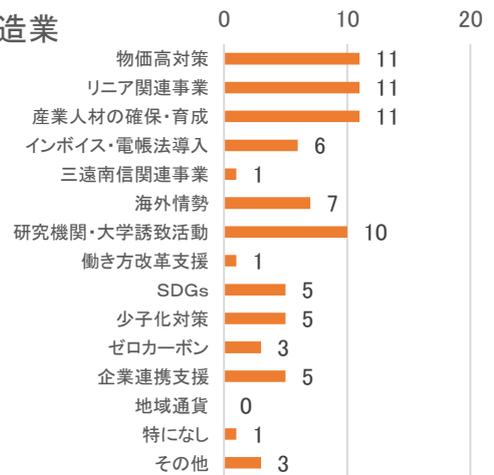
### 卸・小売業



### 建設業



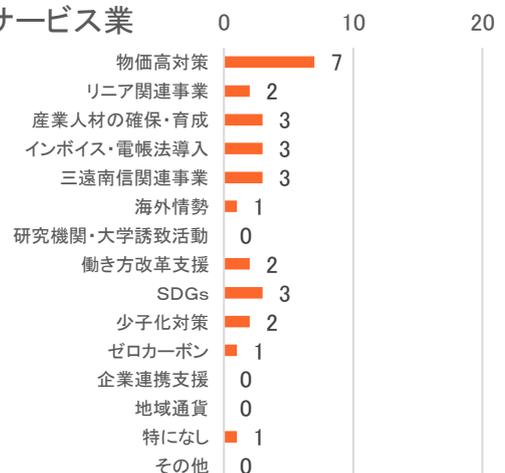
### 製造業



### 宿泊・飲食業

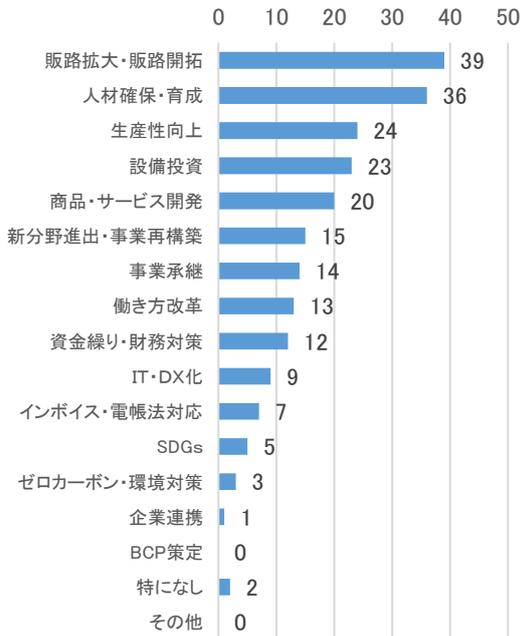


### サービス業

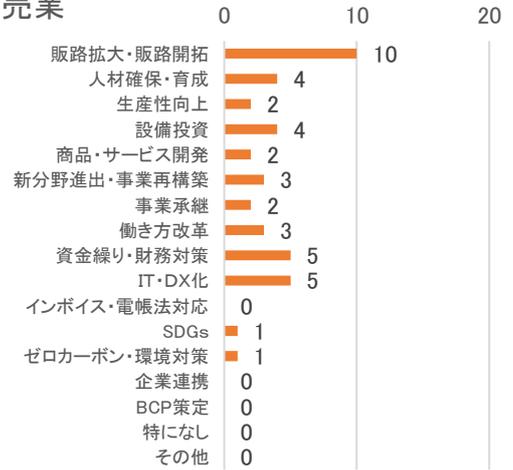


### (3)貴社が2024年に重点的に取り組みたい事項

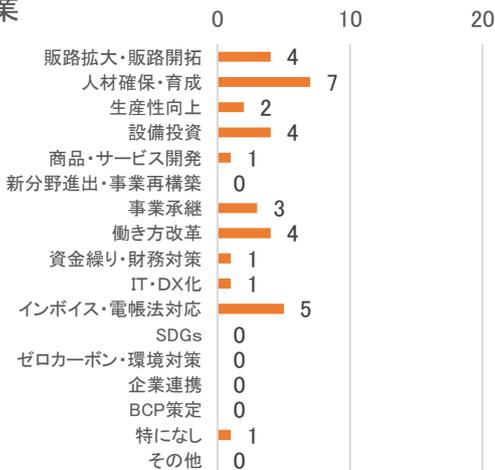
#### 全体



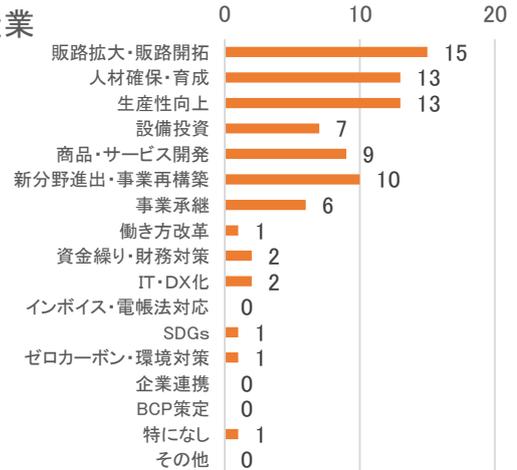
#### 卸・小売業



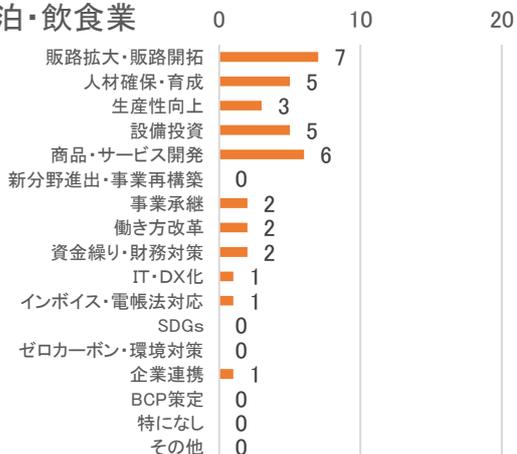
#### 建設業



#### 製造業



#### 宿泊・飲食業

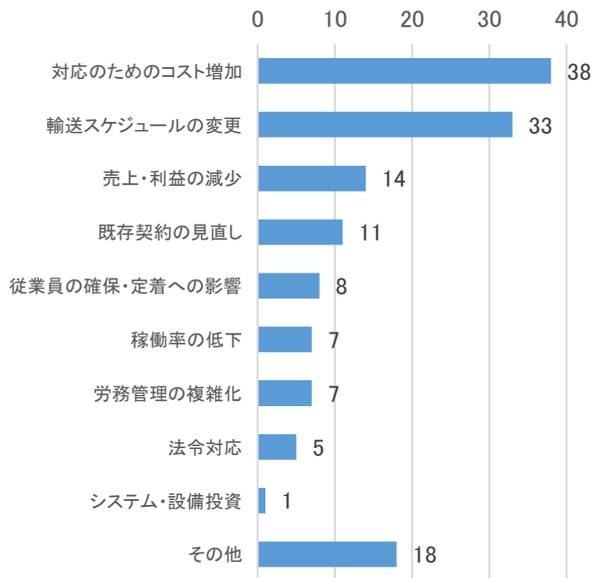


#### サービス業

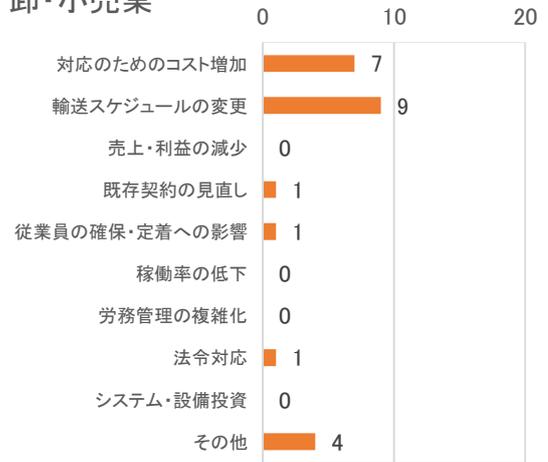


## (4)「2024 年問題」による自社への影響や懸念される事項

### 全体



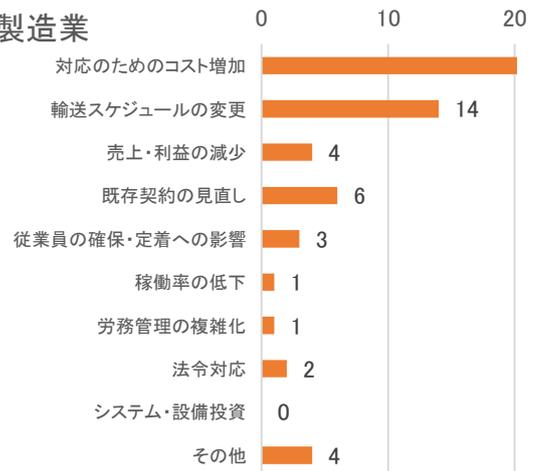
### 卸・小売業



### 建設業



### 製造業



### 宿泊・飲食業



### サービス業



○2024年の自社の見通し「その他」の内容

- ・国の能登地震復興への予算変動によるので何とも言えない。(建設)
- ・産業機械が上向きになれば好転する。(製造)

○地域の動向や政策の中で注目している、又は関心が高い項目や取り組み「その他」の内容

- ・大規模工事の際の地元企業への発注。(建設)
- ・働き方改革では建設業も完全週休2日制に。理由は「求人を出す際に給料ではなく年間休日数を気にする人が増えたから」。(建設)
- ・事業再構築。(製造)
- ・半導体の国内生産の動向。(製造)
- ・円安対策。(製造)
- ・観光分野全般。(宿泊・飲食)
- ・観光、インバウンド(宿泊・飲食)

○貴社が2024年に重点的に取り組みたい事項「その他」の内容

- ・ものづくり補助金の取得を目指し、業務に取り組む。(製造)

○「2024年問題」による自社への影響や懸念される事項「その他」の内容

- ・仕入関連の物流。(卸・小売)
- ・スケジュール管理、法定時間内で遠方の現場なども回せるような管理。(建設)
- ・特に影響、懸念はない。(製造、宿泊・飲食、サービス)
- ・製品の品質に影響が出る可能性がある。(製造)
- ・集荷・出荷がスムーズに動くのか。(製造)
- ・業態的に問題なさそう。(宿泊・飲食)

【その他ご意見等】

- ・震災のこともあり、あたためて安全管理について考えさせられた。(建設)
- ・2024年問題に関しては、大きな影響はない。もともと残業自体が多くないし、やむを得ない場合を除き残業させていない。(建設)
- ・休憩が十分に取れないこともあり、定時より早く帰ることにっては目を瞑っている。納期に遅れることもないので残業もない。休日・夜間の工事も年に数回なので体裁に問題はない。(建設)
- ・舟を作る補助金があれば教えてほしい。(サービス)
- ・物価上昇＝賃上げは現実とのギャップがあり過ぎて、とても対応できない。とてもむなしい。(製造)
- ・地区の役と事業組合の役が押し付け合いのように来ており、受けること自体ができないので困っている。(製造)
- ・運送業者から4月以降の対応などについては通知を受けているわけではない。(製造)
- ・体力、体調が思わしくない。(製造)
- ・人手不足の状況で生産性を上げたいので、ものづくり補助金で機械を導入して機械化をしたい。(製造)
- ・リニア計画が不明だが、頑張っている。(サービス)